



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
8/12 (月)				振替休日			
8/13 (火)	トン	+ 6,800	+ 6,800	国庫短期証券発行償還 (3M・6M)	CP等買入 ▲ 100 国債補充供給 + 19,000		日: 国内企業物価指数 (7月) 米: PPI (7月)
8/14 (水)	+ 200	+ 1,000	+ 1,200				米: CPI (7月) 欧: ユーロ圏GDP (2Q)
8/15 (木)	+ 300	+ 59,000	+ 59,300	源泉税揚げ 年金定時払い 国債発行 (5年) 国債発行償還 (個人)			日: GDP (4-6月期速報) 米: 小売売上高 (7月)
8/16 (金)	+ 200	+ 2,000	+ 2,200				米: ミシガン大学消費者マインド指数 (8月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、国債買入れオペ等の要因により、前営業日対比1兆1,500億円増加の543兆2,400億円から始まった。その後、国債発行等の要因により、9日は542兆0,900億円 (速報) まで減少し越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.227%から始まった。その後もビッドサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばいで推移した。

ターム物は1W~3M物が0.228%~0.350%のレンジで出が見られた。

来週の予定は、国内では、13日に国内企業物価指数 (7月)、15日に国内総生産 (4-6月期速報) の公表。海外では13日に米PPI (7月)、14日に米CPI (7月) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.22 ~ 0.228
1M	0.30 ~ 0.45
2M	0.30 ~ 0.45
3M	0.30 ~ 0.45
6M	0.45 ~ 0.65

<レポ>

足許GC取引は週初+0.13%~+0.15%の出合いから始まり、後場には+0.05%を下回る水準まで低下した。7日の取引以降は、+0.15%~+0.20%で推移し、短国の発行が重なる週末は+0.20%~+0.25%で取引された。

SC取引は2年450~462回債、5年149~170回債、10年350~375回債、20年180~189回債、30年65~83回債、40年13~17回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.12 ~ 0.20
CP 3M	0.30 ~ 0.50

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆3,600億円で、週間償還額の1兆円を上回った。発行残高は、先週末時点の23兆6,966億円から8月8日時点で23兆9,569億円に増加した。発行市場は石油製品、電気機器、鉄鋼、化学などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは銘柄や期間等によりばらつきが見られ、1M物から3M物で、0.25%超から0.40%近辺での出合いとなった。

来週の償還額は、6,500億円となっている。発行市場は、企業の長期連休と重なる影響で、比較的落ち着いたマーケットとなることを予想する。発行レートは、1M物では0.25%超での出合い、3M超の案件については0.3%台後半~0.40%近辺での出合いが見られるであろう。

<TDB>

8日の6M (1248回債) の入札は、最高落札利回り0.1109% (前回債0.0476%)、平均落札利回り0.0948% (前回債0.0396%) となった。9日の3M (1249回債) の入札は、最高落札利回り0.0973% (前回債0.1309%)、平均落札利回り0.0859% (前回債0.1210%) となった。

来週の入札は、16日に3Mが予定されている。